

# 令和3年度 第2回 南砺市立病院運営改革委員会

日時：令和4年3月8日（火）19時～

場所：地域包括ケアセンター 多目的研修室

## 1 開 会

## 2 委員長あいさつ

## 3 協議事項

- ① 市立2病院に係る令和3年度決算見込み及び令和4年度当初予算案について
  - ・病院改革プランとの対比 南砺市民病院 （資料1-1）・・・P1～4
  - 公立南砺中央病院（資料1-2）・・・P5～8

## 4 報告事項

- ① 南砺市立病院将来ビジョンについて
  - ・将来ビジョンの概要と基本4案の検証結果について  
(資料2)・・・P9～18
- ② 看護学生修学資金貸与事業の拡充について  
(資料3)・・・P19
- ③ 「こどものえがおクリニック」への臨床心理士の着任について  
(資料4)・・・P20

## 5 事務連絡

## 6 市長あいさつ

## 7 閉 会

病院名	南砺市民病院
-----	--------

1. 収支計画 (収益的収支)

区分	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			プランとの変動内容
		実績	実績	実績	計画	②実績見込	②計画比	
収 入	1. 医 業 収 益 a	3,288	3,229	3,040	3,411	3,247	▲ 164	
	(1) 料 金 収 入	3,102	3,054	2,877	3,239	3,085	▲ 154	・新型コロナウイルスの影響に伴う患者の受診控え等による入院収益、外来収益の減 ・ドック等健診事業の減
	(2) そ の 他	186	175	163	172	162	▲ 10	
	うち他会計負担金	38	40	40	40	40	0	
	2. 医 業 外 収 益	422	402	534	416	461	45	
	(1) 他会計負担金・補助金	377	364	367	373	364	▲ 9	・新型コロナウイルス病床確保補助金等の国(県)補助金の増
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	13	13	134	10	63	53	
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	20	15	21	23	23	0	
	(4) そ の 他	11	10	12	10	11	1	
	経 常 収 益 (A)	3,710	3,631	3,574	3,827	3,708	▲ 119	
支 出	1. 医 業 費 用 b	3,527	3,477	3,475	3,764	3,703	▲ 61	
	(1) 職 員 給 与 費 c	2,244	2,274	2,286	2,448	2,365	▲ 83	・実績による職員数の減
	(2) 材 料 費	470	423	401	453	453	0	
	(3) 経 費	530	508	512	585	588	3	・R2医療機械器具の償却分の増
	(4) 減 価 償 却 費	264	247	256	241	265	24	
	(5) そ の 他	19	25	20	37	32	▲ 5	
	2. 医 業 外 費 用	129	147	140	161	138	▲ 23	
	(1) 支 払 利 息	48	44	39	35	35	0	
	(2) そ の 他	81	103	101	126	103	▲ 23	・消費税の減
	経 常 費 用 (B)	3,656	3,624	3,615	3,925	3,841	▲ 84	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	54	7	▲ 41	▲ 98	▲ 133	▲ 35		
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)			73		2	2	
	2. 特 別 損 失 (E)			73		4	4	
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0	0	▲ 2	▲ 2	
純 損 益 (C)+(F)	54	7	▲ 41	▲ 98	▲ 135	▲ 37		
累 積 欠 損 金 (G)	1,556	1,549	1,590	1,688	1,725	37		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	1,981	2,039	2,124	2,126	2,021	▲ 105	
	流 動 負 債 (イ)	646	620	677	609	626	17	
	うち一時借入金						0	
	翌年度繰越財源(ウ)						0	
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)						0	
	差引不良債務(オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲ 1,335	▲ 1,419	▲ 1,447	▲ 1,517	▲ 1,395	122	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	101.5	100.2	98.9	97.5	96.5	▲ 1.0		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 40.6	▲ 43.9	▲ 47.6	▲ 44.5	▲ 43.0	1.5		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	93.2	92.9	87.5	90.6	87.7	▲ 2.9		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	68.2	70.4	75.2	71.8	72.8	1.1		
地方財政法施行令第15条第1項により算定した資金の不足額 (H)	▲ 1,335	▲ 1,419	▲ 1,447	▲ 1,517	▲ 1,395	122		
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲ 40.6	▲ 43.9	▲ 47.6	▲ 44.5	▲ 43.0	1.5		
病 床 利 用 率	86.2	86.3	79.6	86.2	82.3	▲ 3.9		

病院名	南砺市民病院
-----	--------

## 1. 収支計画 (収益的収支)

区分	年度	R4年度			プランとの変動内容	R5年度	R6年度	R7年度
		計画	①当初予算	①計画比		計画	計画	計画
収	1. 医 業 収 益 a	3,551	3,436	▲ 115		3,645	3,654	3,660
	(1) 料 金 収 入	3,379	3,271	▲ 108	・新型コロナウイルスの影響に伴う患者の受診への変化等による入院・外来収益の減	3,473	3,482	3,488
	(2) そ の 他	172	165	▲ 7		172	172	172
	うち他会計負担金	40	40	0		40	40	40
	2. 医 業 外 収 益	382	416	34		370	366	364
	(1) 他会計負担金・補助金	339	366	27	・新型コロナウイルス病床確保等繰入金の増	327	323	321
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	10	15	5		10	10	10
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	23	24	1		23	23	23
	(4) そ の 他	10	11	1		10	10	10
	経 常 収 益 (A)	3,933	3,852	▲ 81		4,015	4,020	4,024
支	1. 医 業 費 用 b	3,830	3,790	▲ 40		3,857	3,860	3,863
	(1) 職 員 給 与 費 c	2,460	2,493	33	・実績見込による職員数の増 ・患者減による薬剤、診療材料の減 ・患者減による賃借、検査委託等の減	2,460	2,460	2,460
	(2) 材 料 費	470	438	▲ 32		483	484	485
	(3) 経 費	602	566	▲ 36		618	619	620
	(4) 減 価 償 却 費	261	260	▲ 1		259	260	261
	(5) そ の 他	37	33	▲ 4		37	37	37
	2. 医 業 外 費 用	157	130	▲ 27		153	151	148
	(1) 支 払 利 息	31	31	0		27	25	22
	(2) そ の 他	126	99	▲ 27	消費税の減	126	126	126
	経 常 費 用 (B)	3,987	3,920	▲ 67		4,010	4,011	4,011
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 54	▲ 68	▲ 14		5	9	13	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)		0	0				
	2. 特 別 損 失 (E)		0	0				
	特別損益 (D)-(E) (F)	0	0	0		0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	▲ 54	▲ 68	▲ 14		5	9	13	
累 積 欠 損 金 (G)	1,742	1,658	▲ 84		1,737	1,728	1,715	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	2,142	2,043	▲ 99		2,255	2,375	2,228
	流 動 負 債 (イ)	599	597	▲ 2		596	576	523
	うち一時借入金			0				
	翌年度繰越財源(ウ)			0				
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)			0				
差引 不良債務(オ) [(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)]	▲ 1,543	▲ 1,446	97		▲ 1,659	▲ 1,799	▲ 1,705	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	98.6	98.3	▲ 0.4		100.1	100.2	100.3	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 43.5	▲ 42.1	1.4		▲ 45.5	▲ 49.2	▲ 46.6	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	92.7	90.7	▲ 2.1		94.5	94.7	94.7	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	69.3	72.6	3.3		67.5	67.3	67.2	
地方財政法施行令第15条第1項により算定した資金の不足額 (H)	▲ 1,543	▲ 1,446	97		▲ 1,659	▲ 1,799	▲ 1,705	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲ 43.5	▲ 42.1	1.4		▲ 45.5	▲ 49.2	▲ 46.6	
病 床 利 用 率	86.3	79.4	▲ 6.9		87.0	87.5	88.0	

病院名	南砺市民病院
-----	--------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			プランとの変動内容
		実績	実績	実績	計画	②実績見込	②計画比	
収 入	1. 企業債	43	138	103	71	71	0	・新型コロナウイルス対策補助金の増
	2. 他会計出資金	220	192	182	203	214	11	
	3. 他会計負担金						0	
	4. 他会計借入金						0	
	5. 他会計補助金						0	
	6. 国(県)補助金	0	58	19	3	12	9	
	7. その他						0	
	収入計(a)	263	388	304	277	297	20	
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額(b)						0	
	前年度許可債で当年度借入分(c)						0	
純計(a)-(b)+(c)(A)	263	388	304	277	297	20		
支 出	1. 建設改良費	51	243	137	97	165	68	・新型コロナウイルス対応機器等の整備
	2. 企業債償還金	377	339	327	351	351	0	
	3. 他会計長期借入金返還金						0	
	4. その他						0	
支出計(B)	428	582	464	448	516	68		
差引不足額(B)-(A)(C)	165	194	160	171	219	48		
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	165	194	160	171	219	48	
	2. 利益剰余金処分量						0	
	3. 繰越工事資金						0	
	4. その他						0	
計(D)	165	194	160	171	219	48		
補てん財源不足額(C)-(D)(E)	0	0	0	0	0	0		
当年度同意等債で未借入又は未発行の額(F)						0		
実質財源不足額(E)-(F)	0	0	0	0	0	0		

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			プランとの変動内容
	実績	実績	実績	計画	②実績見込	②計画比	
収益的収支	( 184)	( 168)	( 142)	( 140)	( 48)	▲ 92	・不採算中核病院の運営に係る経費の基準外繰入の一部を基準内へ移行 ・新型コロナウイルス病床確保等繰入金の新設
	415	404	407	412	404	▲ 8	
資本的収支					( 11)	11	・新型コロナウイルス対応機器等の整備
	220	192	182	203	214	11	
合計	( 184)	( 168)	( 142)	( 140)	( 59)	▲ 81	
	635	596	589	615	618	3	

(注)1 ( )内はうち基準外繰入金額

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう

病院名	南砺市民病院
-----	--------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	R4年度			プランとの変動内容	R5年度	R6年度	R7年度
		計画	①当初予算	①計画比		計画	計画	計画
収 入	1. 企業債	45	135	90	・医療機械器具更新の増	45	45	75
	2. 他会計出資金	168	165	▲3		155	154	135
	3. 他会計負担金			0				
	4. 他会計借入金			0				
	5. 他会計補助金			0				
	6. 国(県)補助金	0	0	0		3	3	3
	7. その他			0				
	収入計(a)	213	300	87	203	202	213	
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額(b)			0				
	前年度許可債で当年度借入分(c)			0				
純計(a)-(b)+(c)(A)	213	300	87	203	202	213		
支 出	1. 建設改良費	50	166	116	・医療機械器具更新の増	50	50	103
	2. 企業債償還金	304	295	▲9		287	284	264
	3. 他会計長期借入金返還金			0				
	4. その他			0				
	支出計(B)	354	461	107	337	334	367	
差引不足額(B)-(A)(C)	141	161	20	134	132	154		
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	141	161	20	134	132	154	
	2. 利益剰余金処分量			0				
	3. 繰越工事資金			0				
	4. その他			0				
計(D)	141	161	20	134	132	154		
補てん財源不足額(C)-(D)(E)	0	0	0	0	0	0		
当年度同意等債で未借入又は未発行の額(F)			0					
実質財源不足額(E)-(F)	0	0	0	0	0	0		

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	R4年度			プランとの変動内容	R5年度	R6年度	R7年度
	計画	①当初予算	①計画比		計画	計画	計画
収 益 的 収 支	( 114)	( 24)	▲90	・不採算中核病院の運営に係る経費の基準外繰入の一部を基準内へ移行 ・新型コロナウイルス病床確保等繰入金の新設	( 104)	( 102)	( 102)
	378	406	28		367	363	361
資 本 的 収 支		( 2)	2				
	168	165	▲3	155	154	135	
合 計	( 114)	( 26)	▲88	( 104)	( 102)	( 102)	
	546	571	25	522	517	496	

(注)1 ( )内はうち基準外繰入金額

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう

病院名	公立南砺中央病院
-----	----------

## 1. 収支計画 (収益の収支)

区分	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			プランとの変動内容
		実績	実績	実績	計画	②実績見込	②計画比	
収	1. 医 業 収 益 a	2,213	2,138	2,051	2,235	2,166	▲ 69	
	(1) 料 金 収 入	2,095	2,021	1,939	2,123	2,050	▲ 73	・新型コロナウイルスの影響による 外来収益の減
	(2) そ の 他	118	117	112	112	116	4	
	うち他会計負担金	36	36	36	36	36	0	
	2. 医 業 外 収 益	478	455	535	441	496	55	
	(1) 他会計負担金・補助金	430	409	407	396	394	▲ 2	・新型コロナウイルス病床確保補助 金等の国(県)補助金の増
(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	2	2	89	3	55	52		
(3) 長 期 前 受 金 戻 入	30	24	22	23	28	5		
(4) そ の 他	16	20	17	19	19	0		
	経 常 収 益 (A)	2,691	2,593	2,586	2,676	2,662	▲ 14	
入	1. 医 業 費 用 b	2,496	2,378	2,328	2,628	2,397	▲ 231	
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,395	1,452	1,416	1,652	1,425	▲ 227	・実績による職員数の減
	(2) 材 料 費	325	307	291	307	315	8	・実績による減
	(3) 経 費	435	447	450	483	465	▲ 18	
	(4) 減 価 償 却 費	333	161	160	174	181	7	
	(5) そ の 他	8	11	11	12	11	▲ 1	
	2. 医 業 外 費 用	130	143	154	146	142	▲ 4	
	(1) 支 払 利 息	66	61	56	52	52	0	
	(2) そ の 他	64	82	98	94	90	▲ 4	
		経 常 費 用 (B)	2,626	2,521	2,482	2,774	2,539	▲ 235
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	65	72	104	▲ 98	123	221	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)			56		1	1	
	2. 特 別 損 失 (E)	6	35	57		2	2	
	特別損益(D)-(E) (F)	▲ 6	▲ 35	▲ 1	0	▲ 1	▲ 1	
	純 損 益 (C)+(F)	59	37	103	▲ 98	122	220	
	累 積 欠 損 金 (G)	3,823	3,786	3,683	3,781	3,561	▲ 220	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	960	1,022	1,112	834	1,095	261	
	流 動 負 債 (イ)	607	638	700	656	629	▲ 27	
	うち一時借入金						0	
	翌年度繰越財源(ウ)						0	
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)						0	
	差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲ 353	▲ 384	▲ 412	▲ 178	▲ 466	▲ 288	
	経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.5	102.9	104.2	96.5	104.8	8.4	
	不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 20.1	▲ 8.0	▲ 21.5	▲ 13.6	
	医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	88.7	89.9	88.1	85.0	90.4	5.3	
	職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	63.0	67.9	69.0	73.9	65.8	▲ 8.1	
	地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	▲ 353	▲ 384	▲ 412	▲ 178	▲ 466	▲ 288	
	資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 20.1	▲ 8.0	▲ 21.5	▲ 13.6	
病 床 利 用 率	(一般病床) (病床病床を除く率)	83.6	84.6	81.6	80.0	80.2	0.2	
	(療養病床)	81.5	83.0	79.9	80.0	82.7	2.7	

病院名	公立南砺中央病院
-----	----------

## 1. 収支計画 (収益の収支)

区分	年度	R4年度			プランとの変動内容	R5年度	R6年度	R7年度
		計画	①当初予算	①計画比		計画	計画	計画
収	1. 医業収益 a	2,358	2,277	▲ 81		2,366	2,368	2,368
	(1) 料金収入	2,242	2,164	▲ 78	・新型コロナウイルスの影響による入院、外来収益の減	2,250	2,252	2,252
	(2) その他	116	113	▲ 3		116	116	116
	うち他会計負担金	36	36	0		36	36	36
	2. 医業外収益	427	425	▲ 2		408	394	376
	(1) 他会計負担金・補助金	384	372	▲ 12	・基準外繰入(療養型病床収益差額)の減	360	348	331
	(2) 国(県)補助金	3	5	2		3	3	3
	(3) 長期前受金戻入	23	28	5		28	26	25
	(4) その他	17	20	3		17	17	17
	経常収益(A)	2,785	2,702	▲ 83		2,774	2,762	2,744
支	1. 医業費用 b	2,619	2,606	▲ 13		2,651	2,663	2,668
	(1) 職員給与費 c	1,650	1,580	▲ 70	・実績見込による職員数の減	1,650	1,650	1,650
	(2) 材料費	320	311	▲ 9		320	320	320
	(3) 経費	450	509	59	・燃料費・修繕費・委託料の増	450	450	450
	(4) 減価償却費	188	194	6		216	231	236
	(5) その他	11	12	1		15	12	12
	2. 医業外費用	137	146	9		142	130	124
	(1) 支払利息	47	47	0		42	38	33
	(2) その他	90	99	9	・消費税の増	100	92	91
	経常費用(B)	2,756	2,752	▲ 4		2,793	2,793	2,792
経常損益(A)-(B)(C)	29	▲ 50	▲ 79		▲ 19	▲ 31	▲ 48	
特別損益	1. 特別利益(D)		0	0				
	2. 特別損失(E)		0	0				
	特別損益(D)-(E)(F)	0	0	0		0	0	0
純損益(C)+(F)	29	▲ 50	▲ 79		▲ 19	▲ 31	▲ 48	
累積欠損金(G)	3,752	3,611	▲ 141		3,771	3,802	3,850	
不良債務	流動資産(ア)	852	985	133		855	888	929
	流動負債(イ)	657	602	▲ 55		649	643	649
	うち一時借入金			0				
	翌年度繰越財源(ウ)			0				
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)			0				
不良債務差引(オ) {(イ)-(エ)}-{(ア)-(ウ)}	▲ 195	▲ 383	▲ 188		▲ 206	▲ 245	▲ 280	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	101.1	98.2	▲ 2.9		99.3	98.9	98.3	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 8.3	▲ 16.8	▲ 8.6		▲ 8.7	▲ 10.3	▲ 11.8	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	90.0	87.4	▲ 2.7		89.2	88.9	88.8	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	70.0	69.4	▲ 0.6		69.7	69.7	69.7	
地方財政法施行令第15条第1項により算定した資金の不足額(H)	▲ 195	▲ 383	▲ 188		▲ 206	▲ 245	▲ 280	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲ 8.3	▲ 16.8	▲ 8.6		▲ 8.7	▲ 10.3	▲ 11.8	
病床利用率	(一般病床) (休床病床を除く率)	83.6	78.8	▲ 4.8		83.6	84.7	84.7
	(療養病床)	82.4	84.4	2.0		82.4	83.0	83.0

病院名	公立南砺中央病院
-----	----------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			プランとの変動内容
		実績	実績	実績	計画	②実績見込	②計画比	
収 入	1. 企業債	34	159	157	127	124	▲3	
	2. 他会計出資金	198	202	224	221	221	0	
	3. 他会計負担金						0	
	4. 他会計借入金						0	
	5. 他会計補助金						0	
	6. 国(県)補助金		3	34	3	7	4	
	7. その他						0	
	収入計(a)	232	364	415	351	352	1	
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額(b)						0	
	前年度許可債で当年度借入分(c)						0	
純計(a)-[(b)+(c)](A)	232	364	415	351	352	1		
支 出	1. 建設改良費	47	175	250	168	160	▲8	
	2. 企業債償還金	320	310	311	345	345	0	
	3. 他会計長期借入金返還金	67	90	76	66	66	0	
	4. その他						0	
	支出計(B)	434	575	637	579	571	▲8	
差引不足額(B)-(A)(C)	202	211	222	228	219	▲9		
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	202	211	222	228	219	▲9	
	2. 利益剰余金処分量						0	
	3. 繰越工事資金						0	
	4. その他						0	
計(D)	202	211	222	228	219	▲9		
補てん財源不足額(C)-(D)(E)	0	0	0	0	0	0		
当年度同意等債で未借入又は未発行の額(F)						0		
実質財源不足額(E)-(F)	0	0	0	0	0	0		

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			プランとの変動内容
	実績	実績	実績	計画	②実績見込	②計画比	
収益的収支	(305)	(283)	(190)	(181)	(158)	▲23	・不採算中核病院の運営に係る経費の基準外繰入の一部を基準内へ移行
	466	445	443	432	430	▲2	
資本的収支					(0)	0	
	198	202	224	221	221	0	
合計	(305)	(283)	(190)	(181)	(158)	▲23	
	664	647	667	653	651	▲2	

(注)1 ( )内はうち基準外繰入金額

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう

4. 一般会計長期借入金の見通し

(単位:百万円)

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			プランとの変動内容
	実績	実績	実績	計画	②実績見込	②計画比	
借入額	0	0	0	0	0	0	
借入額計	703	636	546	500	470	▲30	
償還額	67	90	76	66	66	0	・R元年度及びR2年度の償還額には、計30,600千円の繰上償還を含んでいる
年度末借入残高	636	546	470	434	404	▲30	



病院名	公立南砺中央病院
-----	----------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	R4年度			プランとの変動内容	R5年度	R6年度	R7年度
		計画	①当初予算	①計画比		計画	計画	計画
収 入	1. 企業債	108	168	60	・医療機械器具更新の増 ・R2医療機械器具の企業債元金償還分の増	204	41	118
	2. 他会計出資金	222	232	10		215	221	227
	3. 他会計負担金			0				
	4. 他会計借入金			0				
	5. 他会計補助金			0				
	6. 国(県)補助金		0	0		3	3	3
	7. その他			0				
	収入計(a)	330	400	70	422	265	348	
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額(b)			0				
	前年度許可債で当年度借入分(c)			0				
純計(a)-[(b)+(c)](A)	330	400	70	422	265	348		
支 出	1. 建設改良費	108	208	100	・医療機械器具更新の増 ・R2医療機械器具分の企業債償還金の増	207	44	121
	2. 企業債償還金	345	365	20		346	356	355
	3. 他会計長期借入金返還金	68	68	0		68	50	45
	4. その他			0				
	支出計(B)	521	641	120	621	450	521	
差引不足額(B)-(A)(C)	191	241	50	199	185	173		
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	191	241	50		199	185	173
	2. 利益剰余金処分量			0				
	3. 繰越工事資金			0				
	4. その他			0				
計(D)	191	241	50	199	185	173		
補てん財源不足額(C)-(D)(E)	0	0	0	0	0	0		
当年度同意等債で未借入又は未発行の額(F)			0					
実質財源不足額(E)-(F)	0	0	0	0	0	0		

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	R4年度			プランとの変動内容	R5年度	R6年度	R7年度
	計画	①当初予算	①計画比		計画	計画	計画
収益的収支	( 172)	( 141)	▲ 31	・不採算中核病院の運営に係る経費の基準外繰入の一部を基準内へ移行 ・基準外繰入(療養型病床収益差額)の減	( 171)	( 168)	( 168)
	420	408	▲ 12		396	384	367
資本的収支		( 0)	0	・R2医療機械器具の企業債元金償還分の増			
	222	232	10		215	221	227
合計	( 172)	( 141)	▲ 31		( 171)	( 168)	( 168)
	642	640	▲ 2	611	605	594	

(注)1 ( )内はうち基準外繰入金額

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう

4. 一般会計長期借入金の見通し

(単位:百万円)

	R4年度			プランとの変動内容	R5年度	R6年度	R7年度
	計画	①当初予算	①計画比		計画	計画	計画
借入額	0	0	0		0	0	0
借入額計	434	404	▲ 30		366	298	248
償還額	68	68	0		68	50	45
年度末借入残高	366	336	▲ 30		298	248	203

# 将来ビジョンの概要と基本4案の検証結果

## 目次

1 将来ビジョンの策定目的と基本方針	… P. 1	6 基本4案に係る事業費の推移	… P. 7
2 将来ビジョンの位置づけ	… P. 2	7 基本4案に係る資金期末残高の推移	… P. 8
3 市立2病院の現状	… P. 3	8 基本4案の検証結果と案の再考	… P. 9
4 必要病床数の設定	… P. 4、5		
5 基本4案の設定	… P. 6		

# 1 将来ビジョンの策定目的と基本方針

## ○南砺市立病院 将来ビジョンの策定目的

### 将来にわたり持続可能な、やさしく質の高い医療を提供

従来を予想を超える労働力人口の減少や医療需要の変化、大規模感染症への対応など、医療を取り巻く環境は過去に例を見ないほど大きく変化しています。本市においても、医師確保が今後さらに厳しくなることや、将来的な患者需要を踏まえた設備投資計画の策定など、将来を見通した市立病院のあり方について検証を行うべき時期を迎えています。

病院施設・機能の再編は、市民だけでなく、医療従事者にとっても大きな問題です。市では、この問題を先送りすることなく、将来世代が引き続き南砺市で安全・安心に暮らしていただけるため、市立病院に係る将来ビジョンを策定します。

### ◆ 基本方針 ◆

- ① 医療資源の最適化を図るため、市立2病院の機能再編を目指す
- ② 市立病院としての役割（病床機能）を明らかにし、将来的な医療需要を踏まえた適正な病床規模を検討する（※）
- ③ 収支計画を策定、経営持続可能性を検証する
- ④ 上記を総合的に判断し、今後の市立病院のあり方を評価

（※）今般の大規模感染症への柔軟な対応を考慮しつつ、医療需要の変化・地域医療構想を踏まえ病床規模の最適化を進める

### 今後の地域医療体制のイメージ図

（富山県地域医療構想リーフレット抜粋）

「あなたの病気やけがの状態に見合った、ふさわしい病院は、どこですか？」



## 2 将来ビジョンの位置づけ

- **医療構想**は、団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向け、各都道府県毎の医療需要と供給体制を整理し、病床過剰地域の病院規模を縮減する国（県）の取組です。
- **南砺市立病院 将来ビジョン**は、今後50年間の医療需要・労働力人口の推移を踏まえ、市立2病院がどのような運営形態であるべきかを位置付ける中長期的な構想です。
- **新公立病院改革プラン**は、総務省の公立病院改革ガイドライン（※）を踏まえ、地域医療を支える公立病院の役割の明確化や持続可能な経営効率化を目的とした短期的な実施計画と位置付けています。計画期間は5年間、具体的な成果目標を設定し、実施状況の点検・評価・公表が求められます。

### 地域医療構想

- ・ 団塊の世代が75歳以上となる超高齢社会の到来
- ・ 将来にわたり持続可能な、効率的で質の高い医療提供体制の構築
- ・ 地域の医療関係者の協議を通じ病床の機能分化と連携を進め、効率的な医療提供体制を実現

### 南砺市立病院 将来ビジョン(50年間)

- ・ 将来の労働力人口、患者需要の推計
- ・ 地域医療構想の実現に向けた具体的な病床機能等再編ビジョンの策定
- ・ 将来にわたり持続可能な市立病院としてのあり方の可視化

### 新公立病院改革プラン

現：R3～R8（前：H28～H32）

- ・ 公立病院改革ガイドラインを踏まえた短期実施計画
- ・ 成果目標を設定し履行、5年毎に策定
- ・ 実施状況の点検・評価・公表

（※）**新公立病院改革ガイドライン抜粋**（H27.3総務省自治財政局長通知）

＜公立病院改革の目指すもの＞

- ・ 公民の適切な役割分担のもと、地域において必要な医療提供体制を確保
- ・ 安定的に不採算医療などの役割を担っていく

患者だけでなく医療従事者にも選ばれ、将来にわたって持続可能な病院運営を維持していくためには、目先の計画だけではなく、中長期での見通しを立て、その実現に向けた短期実施計画を設定・履行していくことが必要です。

### 3 市立2病院の現状

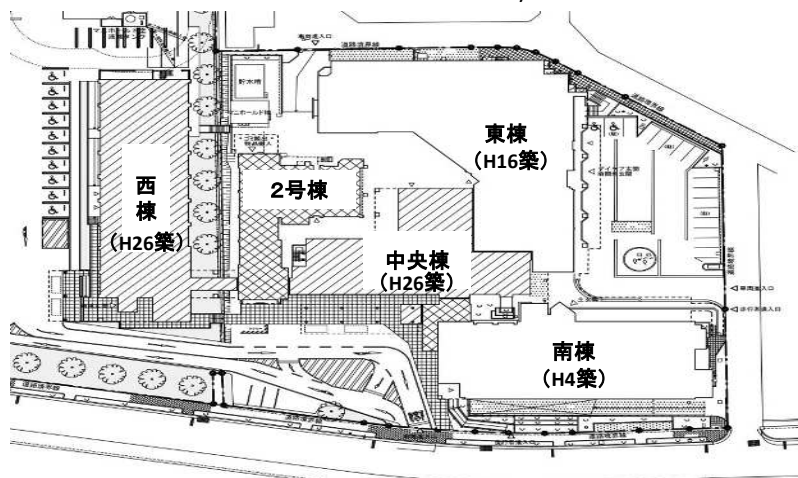
#### ◆病床数

	急性期病床	回復期病床	慢性期病床	計
【南砺市民病院】	96	79	-	175
【公立南砺中央病院】	52	52	45	149
計	148	131	45	324

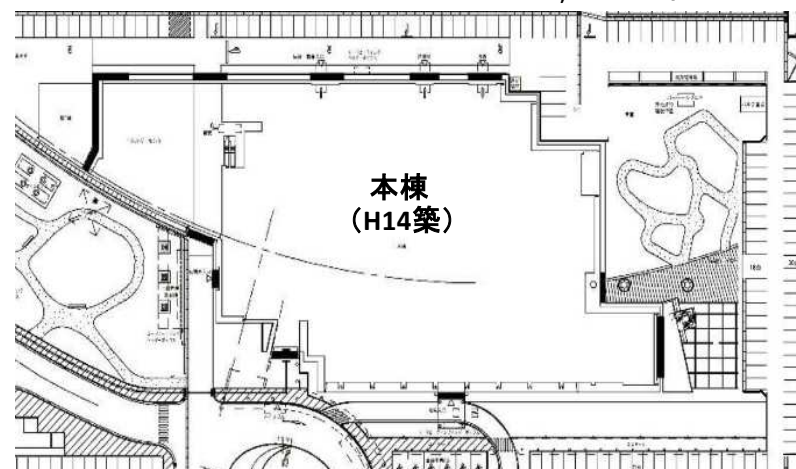
#### ◆病院建物に係る耐用年数

	竣工年	R 2 現在築年数	耐用年数39年とした場合の建替年
<b>【南砺市民病院】</b>			
南棟	H 4 (1992)	28	R 13 (2031)
東棟	H16 (2004)	16	R 25 (2043)
西棟	H26 (2014)	6	R 35 (2053)
中央棟 2号館 (改築)			
<b>【南砺中央病院】</b>			
本棟	H14 (2002)	18	R 23 (2041)

▼南砺市民病院 (延床面積16,674m<sup>2</sup>)

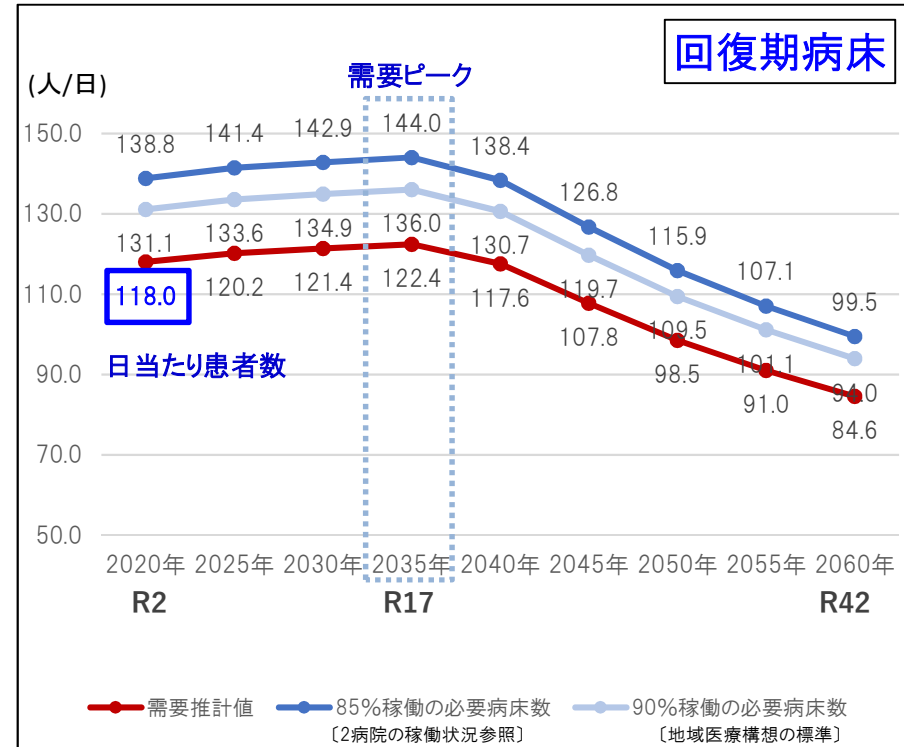
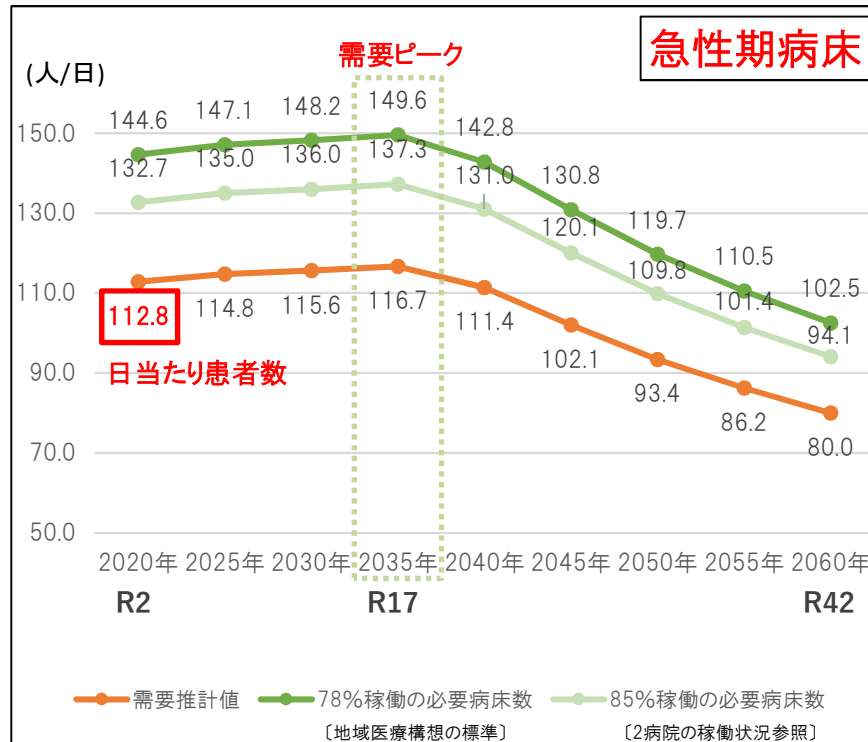


▼南砺中央病院 (延床面積13,959m<sup>2</sup>)



## 4 必要病床数の設定①（ピーク時）

### 需要推計値と必要病床数の推移



### 2035年を見据えた病床数の設定 (床)

	最小パターン		最大パターン	
急性期	(85%稼働)	137	(78%稼働)	150
回復期	(90%稼働)	136	(85%稼働)	144
合計		273		294

※日あたり患者数の推計について  
南砺市立病院における病床機能別の傷病分類別患者数に厚生労働省による患者調査で報告されている傷病分類別受療率と社人研による南砺市人口推計を用いて算出した南砺市入院患者推計を乗じて算出

医療需要の乖離や大規模感染症に柔軟に対応できるように、最大パターンを提案

急性期  
50床×3病棟

回復期  
50床、49床、45床の3病棟

必要病床数  
**294床**

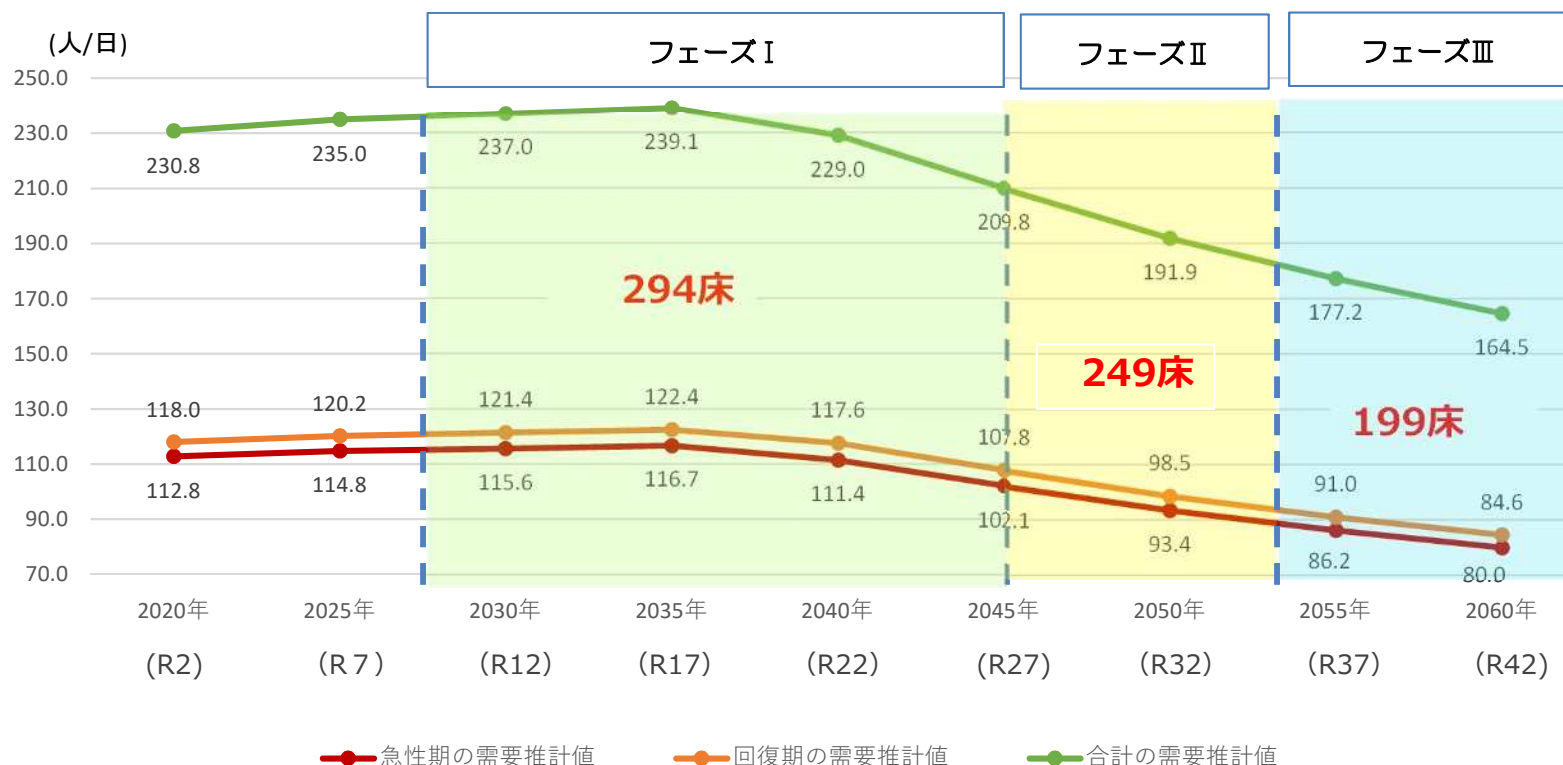
## 4 必要病床数の設定②（医療需要に合わせた病床最適化）

### ◆病床数の設定

2040年以降の急激な医療需要の減少に対応し、病床稼働率を100%を超えない範囲で、以下のとおり病床数の最適化を実施（R3現在の病床数は324床）。

【フェーズⅠ】	2027（R9）～	2044（R26）	294床
【フェーズⅡ】	2045（R27）～	2052（R34）	249床（急性期病床△45床）
【フェーズⅢ】	2053（R35）～		199床（回復期病床△49床）

機能別需要推計値の推移



## 5 基本4案の設定

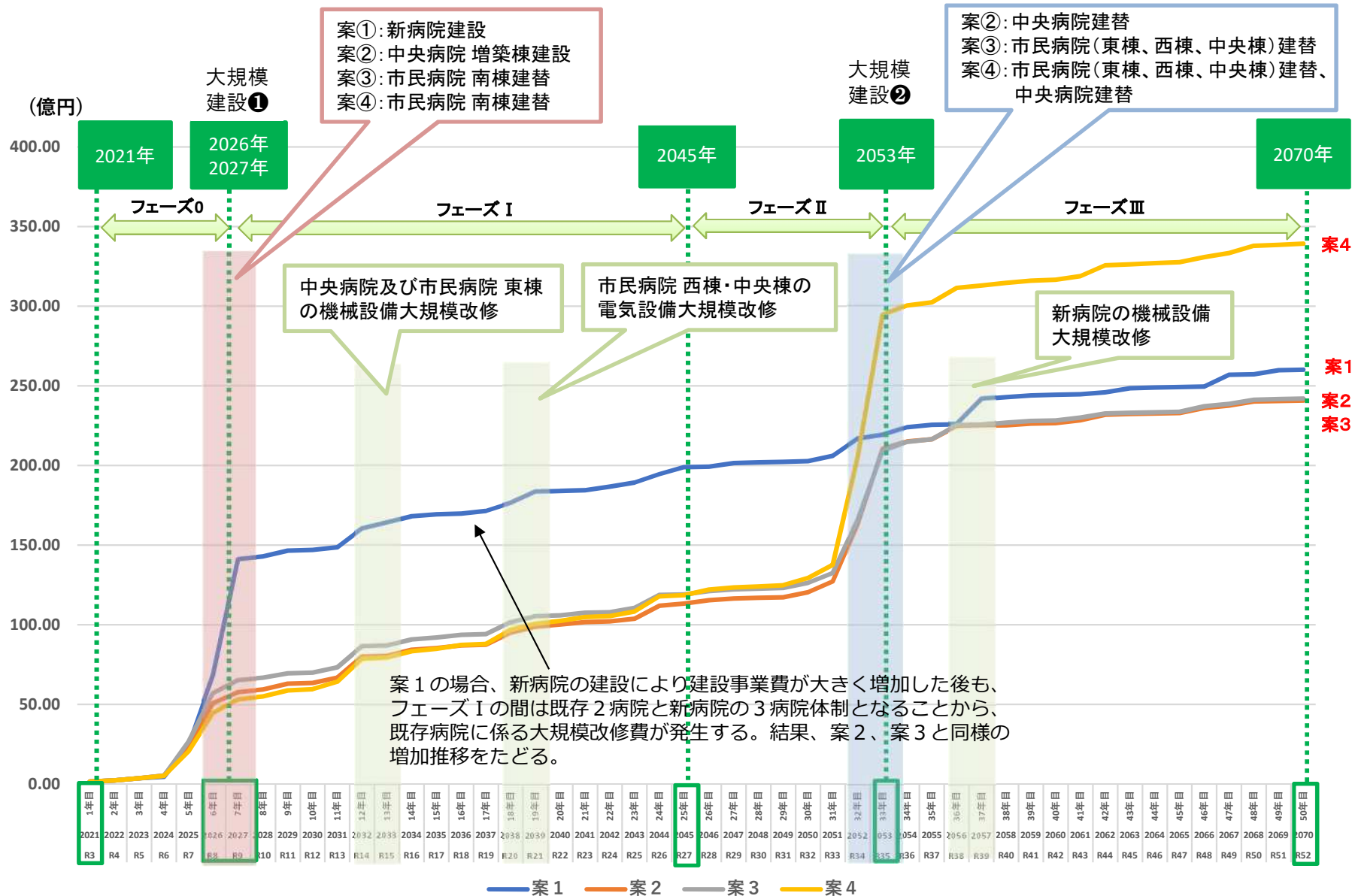
### ◆ 基本4案の設定について

3つの再編案（案1～3）に現行体制を維持する（案4）を加えた4つの案を「基本4案」とし、50年間の収支計画を策定・経営の持続性について比較検証を実施した。

基本4案	案の概要	病床数
案1 新病院を建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R8～R9に199床規模の新病院を建設するモデル</li> <li>・建設場所(仮)は、交通アクセス・人口流動等を勘案し福野地域と仮定(その場合、南砺家庭・地域医療センターを新病院へ統合)</li> <li>・現在の市民病院、中央病院も並行して稼働し、医療需要に合わせて段階的に新病院へ機能統合する</li> <li>・機能統合後、現在の2病院については無床診療所化する</li> </ul>	フェーズ1 : 294床 フェーズ2 : 249床 フェーズ3 : 199床
案2 中央病院へ医療機能統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段階的に中央病院へ医療機能を統合するモデル</li> <li>・統合に合わせ、R8に中央病院に新病棟を増築</li> <li>・機能統合後、市民病院については無床診療所化する</li> </ul>	
案3 市民病院へ医療機能統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段階的に市民病院へ医療機能を統合するモデル</li> <li>・統合に合わせ、R8に老朽化した市民病院南棟を建替える</li> <li>・機能統合後、中央病院については無床診療所化する</li> </ul>	
案4 現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状維持(医療機能の統合は行わないこと)としたモデル</li> <li>・案1～3の比較検討を行うための基準として設けたもの</li> <li>・医療機能の統合が行われなため、職員数や病床規模は現状維持とする</li> </ul>	フェーズ1 : 324床 フェーズ2 : 324床 フェーズ3 : 324床



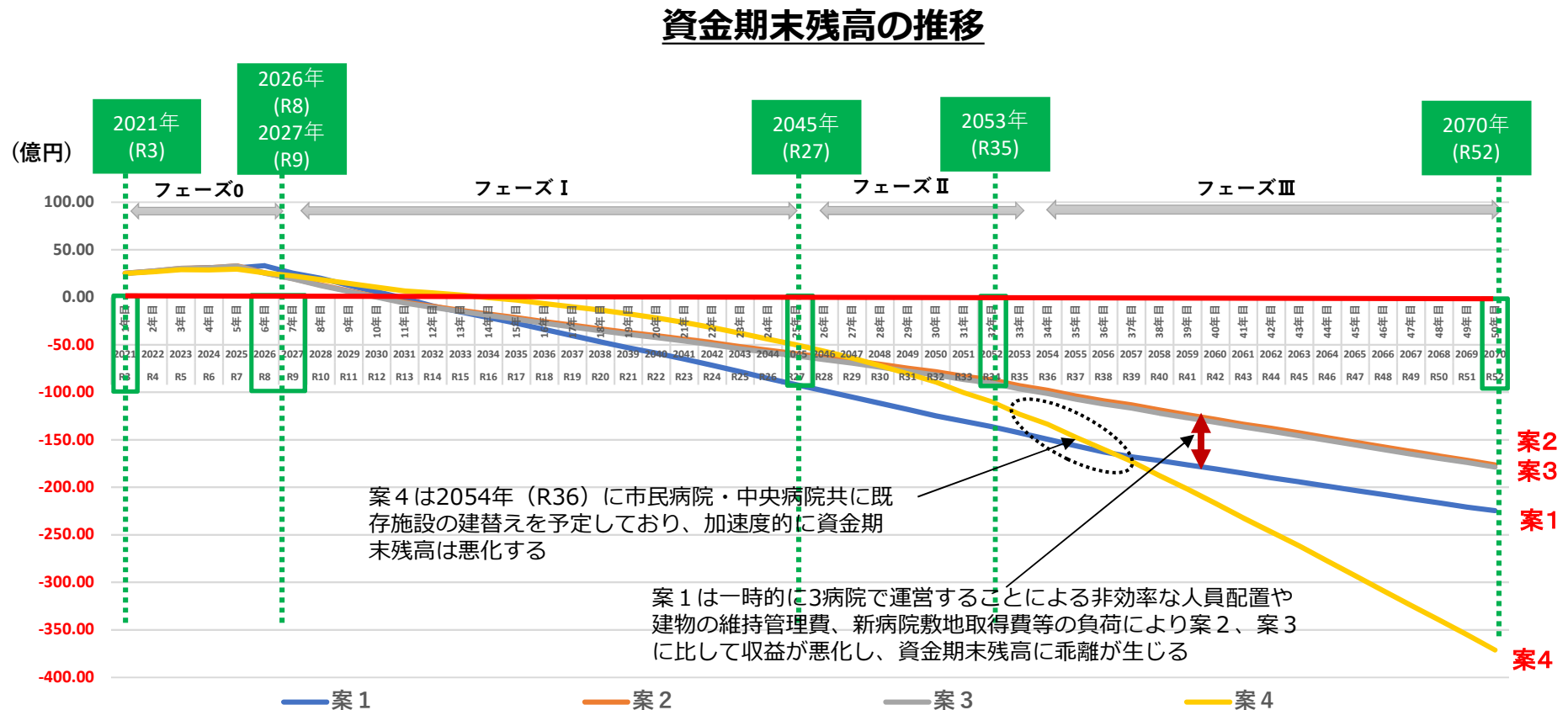
## 6 基本4案に係る建設事業費の推移



## 7 基本4案に係る資金期末残高の推移

### 資金期末残高の推移

案1～4いずれの案においても2030～34年に資金不足に陥る結果となった。現行の病院建物に係る維持管理経費、建設事業の実施に当たり発行する病院事業債の償還金、医療需要の減少に伴う医業収益の減少により年度末資金期末残高は右方下がりとなる。



## 8 基本4案の検証結果と案の再考

### ◆設定等

- ・再編モデルとして、新病院建設案(案1)、中央病院への医療機能統合案(案2)、市民病院への医療機能統合案(案3)、現状維持案(案4)の基本4案を設定
- ・医療需要の推移とともに、病床最適化のタイミングを3段階に分けて設定

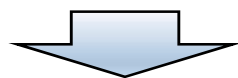
### ◆検証結果

- ・収益的収支については、いずれの案においても再編後に黒字化することはなく、資金期末残高についてはどの案も2034年(R16)までに資金不足に陥る結果となった。



**再編モデルとして設定した基本4案では、いずれも持続可能な病院運営を担保することはできなかった。**

**医療需要・労働力人口がともに大きく減少していく中であっても、医療水準を維持・向上させ、地域住民の安全安心を確保していくためには、持続可能な病院運営を担保できるモデルを再考する必要がある。**



**基本4案の脆弱性をカバーする代替案を再考**

# 看護学生等に対する修学資金貸与事業の拡充

市立医療機関において薬剤師不足が顕著となっている状況を踏まえ、従来の貸与制度に**薬剤師等を新たに追加**するとともに、**対象者要件等を緩和**

## 主な改正内容

### (1) 修学資金の対象者の変更

**薬剤師・保健師**の養成施設に在学する方を貸与対象に**追加**

### (2) 貸与の対象となる者の要件の緩和

南砺市、砺波市、小矢部市**以外に居住する方も貸与の対象へ**

### (3) 修学資金の免除規定等の変更

現 行：卒業年度の免許試験で合格する必要あり

改正後：卒業年度の次年度の免許試験までに合格すればよい

## 貸与額

薬剤師：10万円/月

看護師、保健師：5万円/月

## 返還の免除要件

養成施設を卒業後、市立医療機関において当該免許に係る医療従事者として勤務し、引き続き5年間（薬剤師にあつては、10年間）業務に従事したとき。

施行期日：令和4年4月1日



# 南砺市こどものえがおクリニック

NEW

児童精神科・心療内科に「臨床心理士」が着任！

(児童の心理相談・検査が「こどものえがおクリニック」で可能になります)



## 4月21日(木) 心理相談・検査開始(毎週木曜)

お子さんに関するお悩みを専門の医師・臨床心理士に相談してみませんか？

- ・ 落ち着きがない、イライラが強い
- ・ コミュニケーションが苦手
- ・ 登園や登校をしづる
- ・ ストレスを感じやすい・・・など

臨床心理士とは？

医師と連携し、こころの健康の回復・増進を行います。



**受診対象：3歳～18歳までのお子さん**

※保護者のみの相談にも対応します。

※他院の児童精神科との同時受診はできませんので、病院を変わられる場合は紹介状が必要となります。



予約問合せ先：0763-22-3555 水・木・金 PM1:00～4:00

医師：高木英昌 (真生会富山病院)



臨床心理士：山下委希子 (公認心理師)



南砺家庭・地域医療センター

住所：〒939-1518 富山県南砺市松原577

<http://shinryo.city.nanto.toyama.jp/www/info/detail.jsp?id=2398>

